

自信を持って言ってほしい

そろそろ下関に 帰ってこんかね



岡広報戦略課(☎231-2951)

全

国の地方都市で最大の課題となっている人口減少。下関市も例外ではありません。市の人口は1980(昭和55)年の約32万5000人をピークに減少を続けており、減少率も全国や山口県全体と比べ、大きいものとなっています。

現在の下関市の人口が約26万4000人。将来人口は、2040年に20万人を下回ると予想されています。さらに2060年には15万人を下回り、65歳以上の人の割合は41・5割と予想されています。

Uターンが歯止めを掛ける

人口減少に歯止めを掛けるべく市が力を入れているのが移住・定住に関する施策。特にUターンの推進です。市の人口は徐々に減少していますが、一方でUターンする人たちも多くなります。

「子どもや孫には、家や土地を継いでほしい。下関に帰ってきてほしい。でも、帰ってきてからの生活も心配で…。簡単には帰ってこいとは言いがたい」という方もいるのではないのでしょうか。

しかし、実際にUターンされた方、また、新たに下関に移住をされた方からは、満足の声を聞くことができました。

今回の特集はUターン。実際に下関に移住した方たちの声などを紹介します。



バンドマンから農家へ。地元で安全・安心な野菜を作りたい

宝町／畑樂 安永 季生 さん

ギ

ター少年だった安永さんは、高校を卒業後、名古屋の専門学校にてギター製作を学び、そのまま名古屋で職をします。しかし、夢だった音楽を諦めきれず、24歳の時、東京へ。

アルバイトをしながら、バンド活動に明け暮れます。その後30歳で結婚。翌年には長男が誕生します。その後も同様の生活を続けていましたが、38歳で一念発起。農業の道を志します。きっかけは東日本大震災以降、食品の安全・安心に関心をもちたことでした。「原発事故や食品偽装などの問題がニュースで騒がれていましたし、子どもも小さかったので、食の安全は無視できない問題でした。心配なら自分で作るしかない、と思ったのが始まりですね」。

しかし、農業はまったくの素人。「父は勤め人でしたし、農業には縁もゆかりもなかったため、一から勉強しました」。1年間の農業研修



安永さんが野菜を作る安岡の畑。農薬化学肥料不使用栽培にこだわる



「子どもたちの未来のためにも、体に優しい食べ物を作りたい」と安永さん

を終え、故郷下関にUターンを決意します。「下関には、親や友達もいるので、心強いところがありました」と安永さん。「妻を説得するのが大変でしたね」と笑います。

妻の眞理子さんは、千葉県出身の東京暮らし。「最初は反対でした」と笑います。「ただ、私も食品の安全については主人と同じ考えでしたので、最後は折れました」。下関については、「来てよかったです。生活しやすい町ですね」と眞理子さん。現在は共同経営者として、主に営業などの役割を担います。

今年で3年目。「今後も農薬化学肥料不使用栽培にこだわり、安全・安心な野菜を作っていきたいですね」と夫婦の情熱はぶれません。

安永さんの両親は「素人に農業ができるはずがない」と思っていたが、どうにかやっていけるので、息子を見直しました。頻繁に孫の顔が見られるのもうれしいですね」と話してくれました。



カフェ開業を機に帰郷 「地元は居心地がいいですね」

菊川町
カフェ ロッソ
Cafe Rossa
空田 愛 さん

菊川町出身の空田さん。市内の金融機関に勤務していましたが、以前から興味があった料理に関係する仕事がしたいと、25歳の時に上京。東京のイタリア料理店で働いていました。ピザが有名な店だったそうです。

東京での生活が10年を過ぎたころ、母親から連絡が入ります。「カフェをオープンしたいなら、菊川にいい物件があるよ」。これを機に、帰郷を考えます。「自分の店を持ちたいという思いもありましたが、両親の年齢のことを考えると、そろそろ帰ろうかな、という思いがずっとありました」。その後、帰郷。1年後には帰郷後に知り合った地元の方と結婚。現在は、道の駅きくがわのそばでカフェを営んでいます。

「やはり生まれ育った街というのは、居心地がいいですね」と空田さん。「忙しい時には、両親も手伝ってくれています。ありがたいし、温かいです」。カフェについては、「地元の野菜を使った、みんなに喜んでもらえる料理を作っていきたいですね」と話してくれました。



「父の会社で働き始めて 父の苦勞やすごさを知りました」

豊北町
(有)吉田水産
吉田 嵩志 さん

豊北町出身の吉田さんは、北九州市の会社に勤めた後、Uターン。父親が経営するイカやウニなどの水産加工品を扱う会社に勤めます。「当時は、父の会社に強い思い入れもなく、なんとなく実家に帰った感じです」と吉田さん。「小さいころは、イカもあまり好きではなかったです」と笑います。

しかし、営業職として関連企業を回るうちに、会社の価値を知ったと言います。「取引先のお客様から本当にいろいろと教わりました。その中で、父の苦勞、すごさを知りましたし、自社にプライドを持てるようになりました。自社の看板への思いが変わりましたね」。

現在は、特牛イカやアカモクの瓶詰めなど、豊北町で獲れる商品の開発にも取り組んでいます。「地域に貢献したいという思いは強いですね」。

父親の修さんは「帰って来たこともうれしいのですが、息子自身が、こうしたい、という目標を持って仕事をしていることが何よりうれしいですね」と話してくれました。





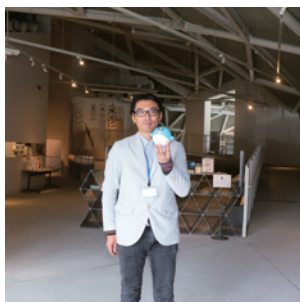
「川棚の杜は町の誇りになる建物 その素晴らしさを発信したい」

豊浦町
川棚温泉まちづくり
村上明さん

村上さんは豊浦町出身。九州大学の大学院を修了後、東京の設計コンサルタント会社に入社します。それから約10年後、東京で慌ただしい生活を送る中、とある業界専門誌で、川棚の杜のことを知ります。「まさか地元、豊浦のことが大きく取り上げられているとは思いませんでしたし、しかも設計があつた隈研吾さんだったので、余計に驚きましたね」。

半年後、実物を見ようと川棚を訪れます。「建物自体に深い魅力を感じると同時に、運用がどうなのか、という点が気になりました」と村上さん。運営する会社に求人が出ていることを知り、求人募集に申し込みます。「川棚の杜は町の誇りになるような素晴らしい建物だと思います。だからこそ、それにふさわしい運営をしたいという思いがありました」。その後、無事採用され、現在に至ります。

「素晴らしいところが豊浦町にはたくさんあるので、もっと発信していきたいですね」と力強く話してくれました。



緑のふるさと協力隊がきっかけ 「ホテル舟で結婚式を挙げました」

豊田町
富永順子さん

東京都出身の富永さんは、小さいころから国際協力や森林保護などに興味があり、25歳の時、緑のふるさと協力隊として豊田町へ来ました。「自然の豊かさはもちろんですが、豊田町は人と人とのつながりが温かいですね」と富永さん。隊員活動としてホテル舟の運航の手伝いなどをしており、「ホテル舟には、本当に感動しました」。

1年間の協力隊期間が終わった後も、豊田町に残り2年間働いていましたが、その後、いったん東京へ帰郷。途中農業研修でアメリカに行っている時期もありましたが、年に2、3度は豊田町を訪れていました。その際に、共通の知人を介し知り合った祐二さんと、遠距離恋愛を突っ走らせ結婚。「ホテル舟が大好きで、結婚式もホテル舟で挙げたんですよ」。現在は、長男の蛍仁くんも生まれ、子育て奮闘中です。

「学歴とかブランドとか表面的なことよりも、人間性を、私自身を見てくれていると感じたことが、この町を大好きになった理由の一つです」



家族が安心して暮らせる町

自信をもって勧めてほしい

移

住相談窓口「住まいる★下関」の楠相談員に話を伺いました。「実は私をはじめ、4人の相談員は全員Uターンなんです。楠相談員は、地元の高校を卒業後、東京の大学に進学。その後、東京に本社を置くIT関連の企業で働いていました。そして3年前、定年を前にUターンしました。「自分たちの経験から他都市

安心の町・下関

「私がUターンした理由としては、下関で1人暮らしをする母親が心配だったことと、関東で暮らしていた時に経験した東日本大震災ですね。下関に昔からの友達が多くいたのも理由の一つです」と楠相談員。

との違い、生活面での比較などもご説明できると思います」

員。「暮らししてみて、田舎過ぎず都会過ぎず、気候も温暖ですし、生活のしやすさを実感しています」また、下関市は医療機関までの距離が近い町で全国第1位、待機児童率の低さでも中国地区で1位になっており、「私の体感として地震も少ないですし、下関は家族全員が安心して暮らせる町だと思います」と楠相談員は話します。

年間で約73万円もお得!?

帰郷に際し、どうしても気になるのは収入面。「たしかに収入は減るかもしれませんが、その分家賃などが安いので支出も減ると思います」

大都市と下関市での生活収支を比較したモデルケースを見ると、家賃のほか社会保障費や税金などでかなりの開きがあることが分かります(左上表参照)。「モデルケースですので一概には言えませんが、収入が減ったとしても生活は成り立つのではないかと思います」

両親からの相談も

「息子たちを地元に戻したいが、どうしたらいいか、という相談もありますね」と楠相談員。「家や土地などを継いでほしいと考える親



住まいる★下関～移住の窓口～
楠 正次 相談員

住まいる★下関

☎083-242-0500 ㊚083-242-0501
✉smile@shimonoseki-iju.com
営業時間 午前10時～午後6時30分
定休日 火曜日、12/29～1/3
https://shimonoseki-iju.com
〒750-0025
市内竹崎町4丁目4番8号
シーモール下関1階



住まいる★下関公式キャラクター ふくのすみ子

「すみっこ」を愛する内気な彼女は、落ち着いた場所を探して下関にやってきました。

「この居心地の良さを秘密は、すみっこという土地柄にあるのかも」

この市報のいろんなページのすみっこにも隠れているよ!



医療機関

までの距離の近さ

※1
1位

全国

救急救命

センターまでの時間

※1
1位

全国

高度な救命措置が可能
な救命センターまでの所要時間

※1 出典：経済産業省「生活コストの見える化」システムより
複数あり(1位複数ありとは、トップランクだがランク中に複数の自治体が存在するもの)

移住支援制度

人口定住促進住宅 「豊北ハイツ」

移住希望者に、定住の準備を進めるための住宅として、最長5年間、低廉な家賃で本住宅を賃貸します。
家賃 2LDK / 3万3,000円～5万円
豊北総合支所地域政策課
(☎083-782-1911)

定住奨励金

豊田・豊北地域と蓋井・六連島に市外から転入した方が、転入後1年以内に住宅の新築、購入、増築または賃借を行い、6カ月以上継続して居住した場合、1世帯につき10万円を支給します(公務員は除く)。
企画課(☎083-231-1911)

空き家バンク

対象地域にある、売買・賃貸希望の住宅をリスト化しています。物件情報は市ホームページからも確認できます。
対象地域 吉田・内日・菊川・豊田・豊浦・豊北地区
図住まいる★下関(☎083-242-0500)

出産祝い金

豊田・豊北地域と蓋井・六連島に居住する方が、第3子以降の子を出産し、生計を同じくして6カ月以上養育した場合、第3子以降の子1人につき20万円を支給します。
企画課(☎083-231-1911)

お試し暮らし体験プログラム

市内の簡易宿泊施設に滞在しながら下関市の生活を体感できます。1泊2日～4泊5日。宿泊無料。体験プログラム必須。▷まちなか暮らし(ゲストハウス UZUハウス) ▷いなか暮らし(「みのりの丘」クラインガルテン、ヴィラむろつ)。
※利用条件有り。詳細は問い合わせを
図下関21世紀協会(☎083-223-2001)



◀UZUハウス
▼みのりの丘



収支比較

大都市との1年間の収支を比較

【モデル家庭】夫婦、子ども2人/夫35歳～39歳(大卒・卸売業)/住宅:賃貸(60㎡)

	下関市	大都市Y	
1年間の収入	4,847,000	6,032,000	
1年間の支出	4,888,584	6,807,180	
支出内訳	食料	726,984	818,268
	住居(家賃)	1,062,912	2,313,036
	住居(維持費)	34,416	42,180
	光熱水費	258,384	236,628
	家具・家事用品	93,144	107,364
	被服・履物	159,624	174,720
	保健医療	117,924	122,028
	交通・通信	518,052	597,552
	教育	124,836	183,264
	教育娯楽	347,664	402,324
	その他の食費支出	365,856	382,956
	税金	410,892	613,860
	社会保障料	667,896	813,000
1年間の収入－支出	-41,584	-775,180	

「生活コストの見える可」システムによるシミュレーション(経済産業省)



シーモール下関1階インフォメーションカウンターそば「気軽に立ち寄りしてほしいですね」。

「御さんからの相談は増えています。子どもたちには帰ってきてほしいが、具体的に何をしたらいいかわからない、という方もいます。」「とっかかり、きっかけをご提案できると思いますし、現にそのような状況から、Uターンしたケースもあります。また、市の支援制度が利用できる場合もありますし、総合的なサポートができると思い

ます。窓口の立地もいいので、気軽に相談していただきたいですね」
Uターンにご協力を
市では、移住促進に関するさまざまな施策を実施しています。しかしながら、思うような効果が出ていないのが現状です。移住の促進、人口減少などの問題は行政の取り組みだけでは解決できません。市民の皆さんの協力が不可欠です。
下関は歴史のある、暮らしやすい町です。今回の特集で紹介した方たちのように、下関に帰郷して良かった、移住して良かったという声をよく耳にします。
市外で暮らす子どもや孫がいる方は、自信を持って、下関へのUターンを勧めてみませんか。
「そろそろ下関に帰ってこなかね」

待機児童率の低さ

地域の保育所の待機児童率の低さ

※1

中国地方 1位

温暖さ

年間平均気温の温暖さ

※2

中国地方 1位

※2 出典：国土交通省数値情報「平年値メッシュデータH22」